

5 名城大学ボランティア協議会

(天白区)

地域自主防犯活動活発化促進事業

実施結果報告書

1 団体名	名城大学ボランティア協議会
2 事業名	ふれあいあいさつ運動の拡大展開事業
3 事業実施結果	<p>新型コロナウイルス蔓延の影響を受けて、思うように活動ができませんでしたが、購入したパトロール資材であるビブスとキャップを着用することで、防犯ボランティア参加学生のモチベーションを高く保つことができ、また名城大学ボランティア協議会の名称が広く知られることになり、地域住民や行政との社会連携がより強固になったと実感しています。</p>  <p>パトロール資材のデザイン選定の様子</p>   <p>完成したパトロール資材 (旧・新)</p>

当初の計画であった、現在行っている防犯活動およびあいさつ・声掛け運動の実施地域を広域化することにおいては、他大学への広域化は断念したものの、八事キャンパスの薬学部学生会およびナゴヤドーム前キャンパスの学生との連携を図り、今後の事業拡大の足掛かりとし、市民や学生の防犯意識の啓蒙を図る一助とすることができました。

具体施策としては、名城大学ボランティア協議会の活動拠点である天白区を中心に以下の活動を、感染症対策に十分に気を付けて行いました。

1) 最寄りの大坪小学校にて月に一度、「ふれあいあいさつ運動」と銘打って、下校する児童の見送り、声掛け活動を行いました。

これについては、大坪小学校の教頭先生との連絡調整を行い、小学生の感染不安を払拭し、再開することができました。継続した取組みが評価され、1月14日に天白警察署生活安全課より感謝状を拝受しました。



2) 月に一度、「防犯パトロール」と銘打って、天白キャンパス周辺を巡視し、空き巣等の侵入盗の防止活動を行っています。併せて公園の遊具が破損していないかの確認も行い、必要に応じて土木事務所へ連絡を行っています。



これら2つの活動を組み合わせ、本学でボランティア活動の手が回っていなかった八事キャンパスおよびナゴヤドーム前キャンパスに支部長を置き、連携をはかりました。

3) 飲酒運転撲滅キャンペーン

天白警察署と天白区役所と協働して、飲酒運転撲滅キャンペーンに参加しました。従来は飲食店をまわって挨拶運動とグッズの配布を行いますが、本年は植田西交差点において、サイン掲示およびグッズ配布を行い啓発しました。

4) ダブルオー作戦（青色パトロール出発式）

天白区役所において、天白警察署と協働して出発式のボランティアを行いました。注文していた資材が届いたため、キャップとビブスを着用し、防犯活動に尽力することができました。



石田会長の「エイエイオー」の号令



天白区のマスコットキャラクター「かぼっち」と

4 成果と課題 及び今後の 取組み

（1）事業実施の成果及び課題

購入したパトロール資材であるビブスとキャップを着用することで、防犯ボランティア参加学生のモチベーションを高く保つことができ、また名城大学ボランティア協議会の名称が広く知られることにより、地域住民や行政との社会連携がより強固になったことが成果です。

課題は、当初の計画であった、現在行っている防犯活動および声掛け運動

実施地域の広域化について、他大学への広域化を断念したことです。しかし、八事キャンパスの薬学部学生会およびナゴヤドーム前キャンパスの学生との連携を図り、今後の事業拡大の足掛かりとし、市民や学生の防犯意識の啓蒙を図る一助とすることができた点は成果であります。

(2) 今後の取組み

新型コロナウイルス蔓延の影響を受けて、思うように活動ができませんでしたが、引き続き、八事キャンパス付近の表山学区、ナゴヤドーム前キャンパス付近の矢田小学校と調整し、ふれあいあいさつ運動を拡大展開します。



月例の活動報告会およびスタッフ説明会の様子